

心豊かな世代が育つ

童話の里づくり

451

―シリーズ― あなたの人権・わたしの人権

『自分から一歩踏み出す』

くす星翔中学校 3年生

今、ロシアとウクライナでは戦争が起こっています。約七十年前、日本でも戦争が起きていました。

私は、自分が生きている間、テレビで戦争の映像を見ることがあるなんて思っていませんでした。

テレビで見るだけでもとてもこわいの、ロシアやウクライナにいる人は、私たちの何倍、何百倍もこわい思いをしているんだと考えるだけで、とても苦しくなります。

そして、もしも日本で戦争が今起こっていたら、自分の住んでいる町が攻撃されたら、家族や友人のことを考えたらとても悲しい気持ちになります。

今、日本で戦争が行われていないこと、攻撃されていないことは幸せなことなんだと改めて思いました。

罪のない人が無差別に殺され、「戦争反対」と言えないのが現状です。戦争をして喜ぶ人は世界に一人もいないと私は思います。

戦争と違って、武器はありませんが、「いじめ」も同じことだと思えます。

人の容姿や性格、コンプレックスをいじる、いじめているつもりはなくても、言われた側はとても傷ついています。

その「いじめ」がエスカレートしていじめになってしまふ。最終的に学校に来られなくなったり、自ら命を絶ってしまった人も少なくありません。

ネットの誹謗中傷も顔が見えないから、誰が書き込んだのかわからないからと、相手が傷つくことを書いてしまふ、ネットに書き込むことでストレス発散している人も世界にはたくさんいます。

もしかしたら、あなたの身近にもネットに書き込む人・ネットで傷つけられている人がいるかもしれません。

いじめはこれだけではなく、コロナウイルスが流行したことによっていじめにあった人たちもいます。

ただセキをしただけでも「コロナだ。」と言われたり、一度コロナになった人に対しても差別的な発言をしたりと様々なことが起きています。今回の戦争でも同じようなことがあります。国籍がロシアというだけで、面接で落とされたり、「ロシアに帰れ。」「日本に来るな。」と罵倒されたりした人がいます。

個人の問題でもその人のせいでもないことで差別されているのです。

私たちがいじめをなくそうと行動しても、世界中のいじめや差別はすぐにはなくならないでしょう。

ですが、自分の周りにある人権問題、学校生活の中で嫌な思いをしている人の悩みは減るかもしれません。正直、いじめや差別の問題に立ち向かうのはとても勇気がいることです。とても怖いことです。

自分がいじめられてしまふかもしれない、悪口を言われるかもしれない、仲間外しされるかもしれない

不安なことがたくさんあります。行動することをやめようと思ってしまうこともあると思います。

でも、学校生活や日常生活の中で誰もが安心して、楽しく幸せに過ごすためには、自分からいじめや差別問題に対して行動することは、大切な一歩だと私は思います。

自分がされて嫌なことは人にしないのはもちろん、少しでも安心して過ごすため、自分から一歩踏み出してみようと思います。

この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしています。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名可)、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届けください。

